

文芸活動事始め



布引支部／NEWサークル 福永 誠

『NEWサークル』グループLINEでの遣り取りが高じて、いつの間にか『俳句・川柳、短歌』を始めることになりました。ずぶの素人で『基本のきの字』もよく分かってはいませんが、謂わば「怖いもの知らず」の勢いで「傲岸不遜」を承知の上、この会報にも投稿させて頂くことと致しました。同好の士がおられましたら、お互いに切磋琢磨して成長していきたいと思っておりますのでお声掛け頂ければ幸いです。

尚、唯一指針にさせていただいたのは、我が神戸ヒヨコ登山会きっての俳人、早瀬淳一さんの以下の言葉です。

「俳句は物を提示してモノを言わない。季語に託して極力言わない。短歌は思いを全部言う。」

【俳句の部】 * 早瀬さんの添削を受けたもの

春愁を花粉とコロナ綱引きす *

名も知らぬ草ばかりなり土筆取り

ケンちゃんを偲ぶや今朝も花曇り

辛夷の木コロナを飛ばす風の吹く *

花を継ぎ地に拡がるやシバザクラ

公園の砂場に増し砂春の笑み

春の野やヒメオドリコの乱舞せり

【川柳の部】 柳名(号) 予讃不足

自由業コロナのせいで不自由に

落ち葉掃き諭吉なりせば金持ちや

(解説) 若葉の生え変わるこの時期、マンション管理員にとって落ち葉掃きは重労働でシンドイ仕事です。「集めた落ち葉が全部『福沢諭吉』やったら大金持ちや！」と妄想するだけでツライ気持ち少しは楽になります。発想の転換をお笑いください。

記念日もコロナのせいで泣き寝ん日

ころなやみたれにしょうかいしょうかい

(解説) 緊急事態宣言が発令され、日に日にPCR検査で陽性と判定される人が増えていった

4月中旬、家内が体調不良に陥りました。ただこの頃は「体温37.5℃以上が4日以上続き、

倦怠感が強く、呼吸困難があること」が検査を受けるための絶対条件で、熱がさほど上がらなかった家内は、コロナ相談窓口にも電話しても、「主治医に相談してください」と言われるだけ。

やっと受けることができたX線検査と心電図でも肺炎の兆候はないと言われました。その時、

詠んだのがこの句です。

新型コロナウイルスに罹患していると診断された訳ではないですが、「もしコロナだったら

どうしよう、人に移したらどうしよう」と精神的にも病んだ状態でしたので、「コロナ病み」と「この悩み」を掛け、誰にも相談でき

ない苦しさを「誰に照会しようかい」と表現しました。

ある方から「本当に（コロナに感染していると）疑われた方々の必死な思いに心を寄せたいと思います」という表現で、この句を否定されました。あたかもふざけて作ったように。

小生の思いを上手く伝えることが出来ず、己の拙さを自戒するばかりです。指呼の間コロナ迫れりひたひたと

議論中断ホットいえいえアイコでしょ

（解説） 白熱した議論を中断し、コーヒープレイク。ホットじゃなくてアイコ（アイスコーヒー）で頭を冷やそうと言うのと、議論の勝負がつかずじゃんけんの「あいこでしょ」を掛けたつもりですが・・・

妻寝込み主夫業という照れワーク

休日に人が押し寄せ山困る

ダジャレでも「クスリッ」もらえば良き薬

【短歌の部】

落ち着かば思い起こせよこの騒ぎつつがなしとてコロナ忘れそ

（解説） ご存知、菅原道真の有名な「東風吹かば匂い起こせよ梅の花主なしとて春な忘れそ」をパロディー風に詠んだものです。

我逝かば花筏にて見送れと遺せし母の希み叶えん

亡き父の齢はるかに超えれども四十路の父は大きし強し

MEVIUS（メビウス）は ME VIRUS（ミー

ビールス）とも読めりけり R なし

とて害な忘れそ

（解説） これも最初の歌と同じ「〇〇な△△そ」を使いました。MEVIUS（メビウス）とは日本たばこ産業が販売している人気ナンバーワンのブランド名です。

家庭にはぜひとも欲しい温もりとできれば欲しくないないすきま風

VIRUS は昔ビールス今ウイルス呼び名変われど怖さ変わらず

誰ぞ言う瓦礫も山の賑わいとゆめ許すまじ不法投棄は

以上、つたない俳句7句、川柳9句、短歌7首をお届けしました。

7と9と7で 「コロナなくなれ！コロナになくな！」

.....